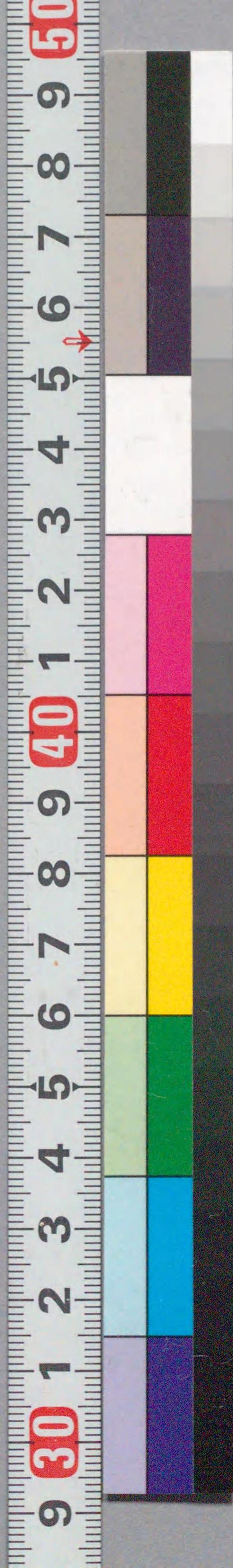


国立国会図書館

天剛岳楊柳：3巻 207-285



ガラス使用

寛政四年印本



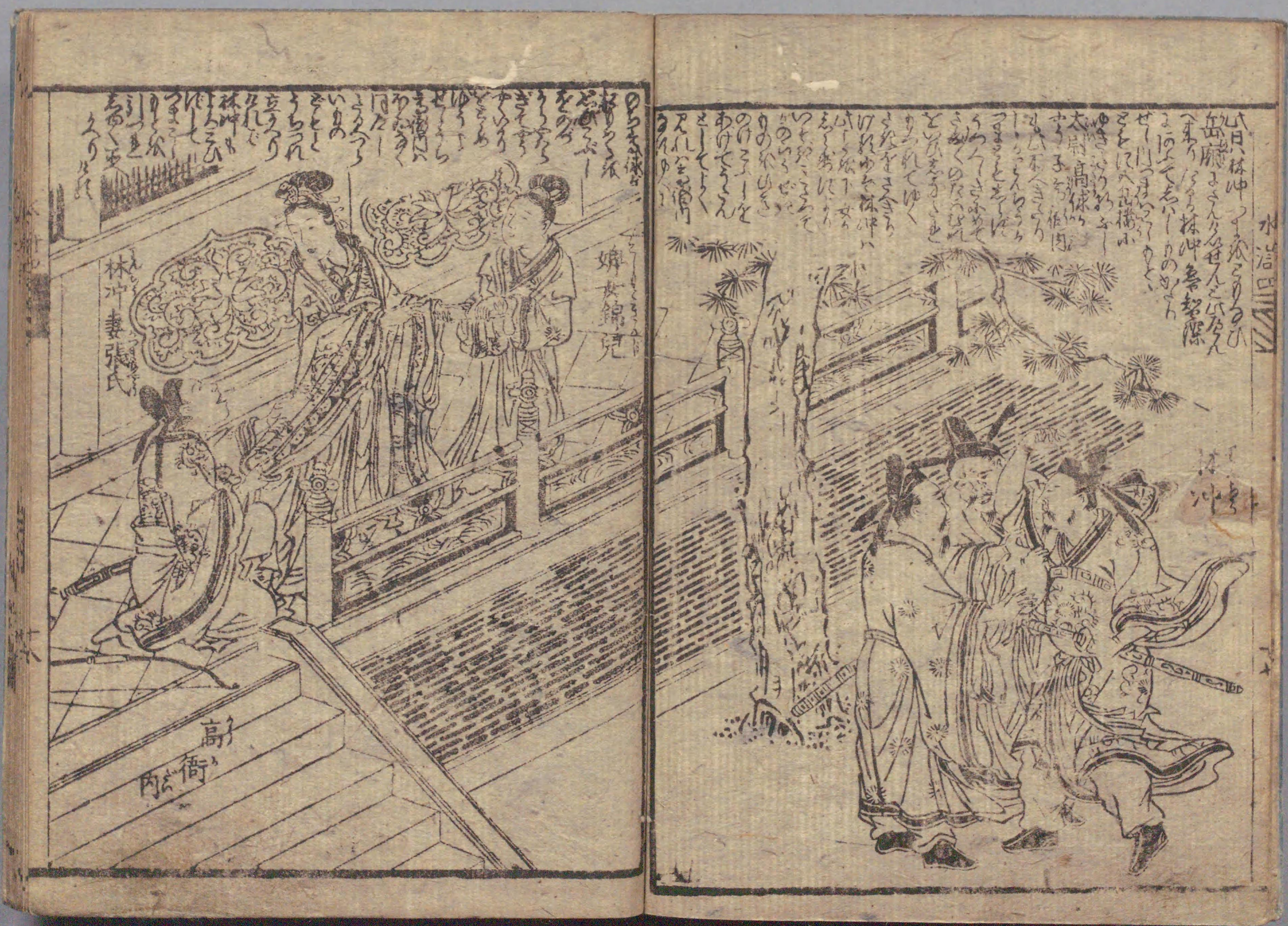
天剛垂楊柳

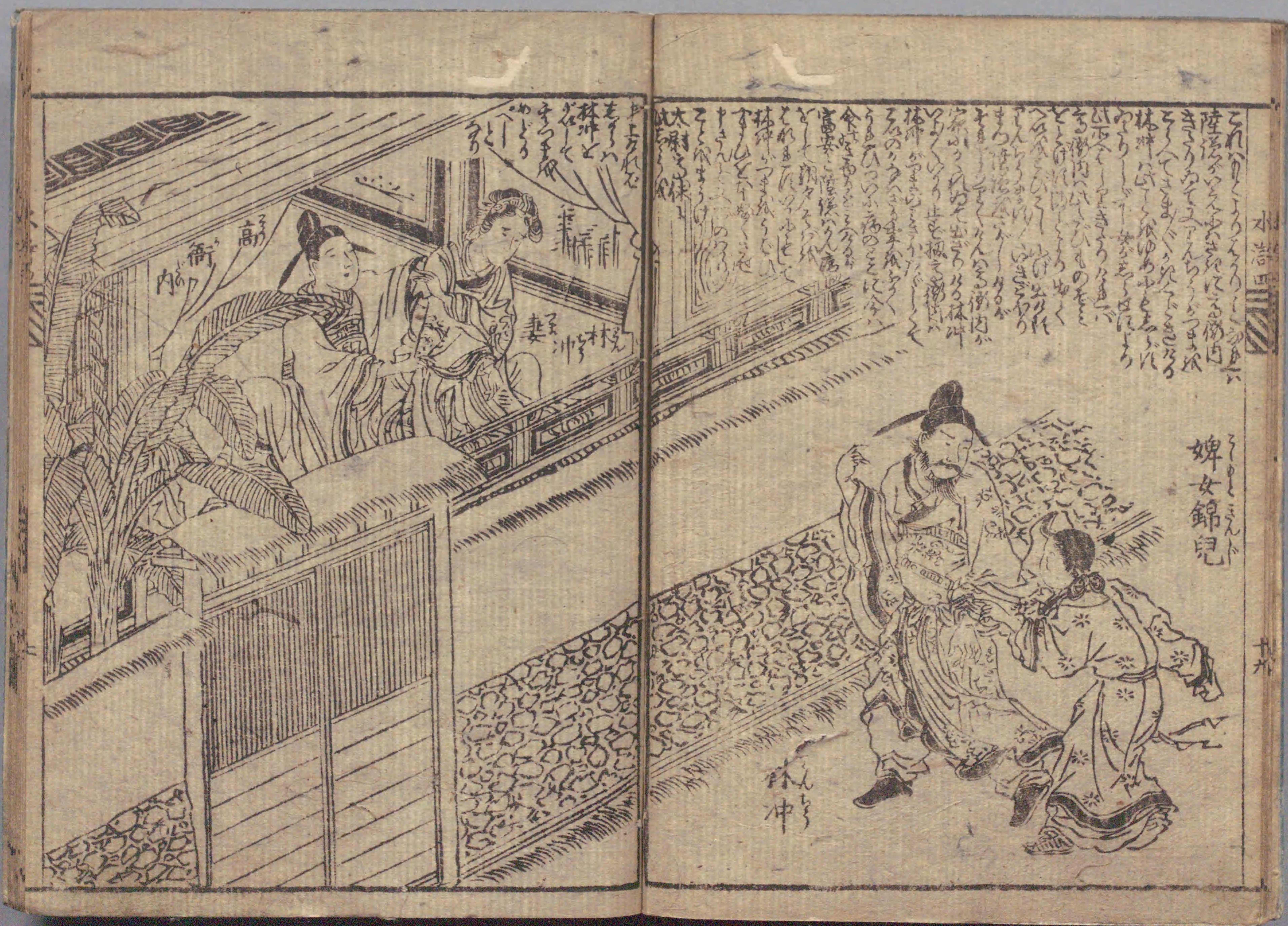
作者 山東京傳

附 氷乃銀の一振の春ありねど
千銀乃價

兼 垂楊柳の一株の鬼依わさむく
上人の力
上 板元通油町
はな







水滸

婢女錦兒

林冲



水許









林冲の事
 林冲は東京の都人なり
 官人として仕立なり
 一日大雪の日に
 酒を飲みて
 大雪の中を
 歩きたり
 忽ち大雪の
 中に
 倒れ
 ぬ
 所
 あり
 林冲は
 倒れ
 ぬ
 所
 あり
 林冲は
 倒れ
 ぬ
 所
 あり



林冲の事
 林冲は東京の都人なり
 官人として仕立なり
 一日大雪の日に
 酒を飲みて
 大雪の中を
 歩きたり
 忽ち大雪の
 中に
 倒れ
 ぬ
 所
 あり
 林冲は
 倒れ
 ぬ
 所
 あり
 林冲は
 倒れ
 ぬ
 所
 あり



林冲の事... 天正堂... 月夜... 林冲の事... 天正堂... 月夜... 林冲の事... 天正堂... 月夜...



林冲の事... 天正堂... 月夜... 林冲の事... 天正堂... 月夜... 林冲の事... 天正堂... 月夜...





水并六

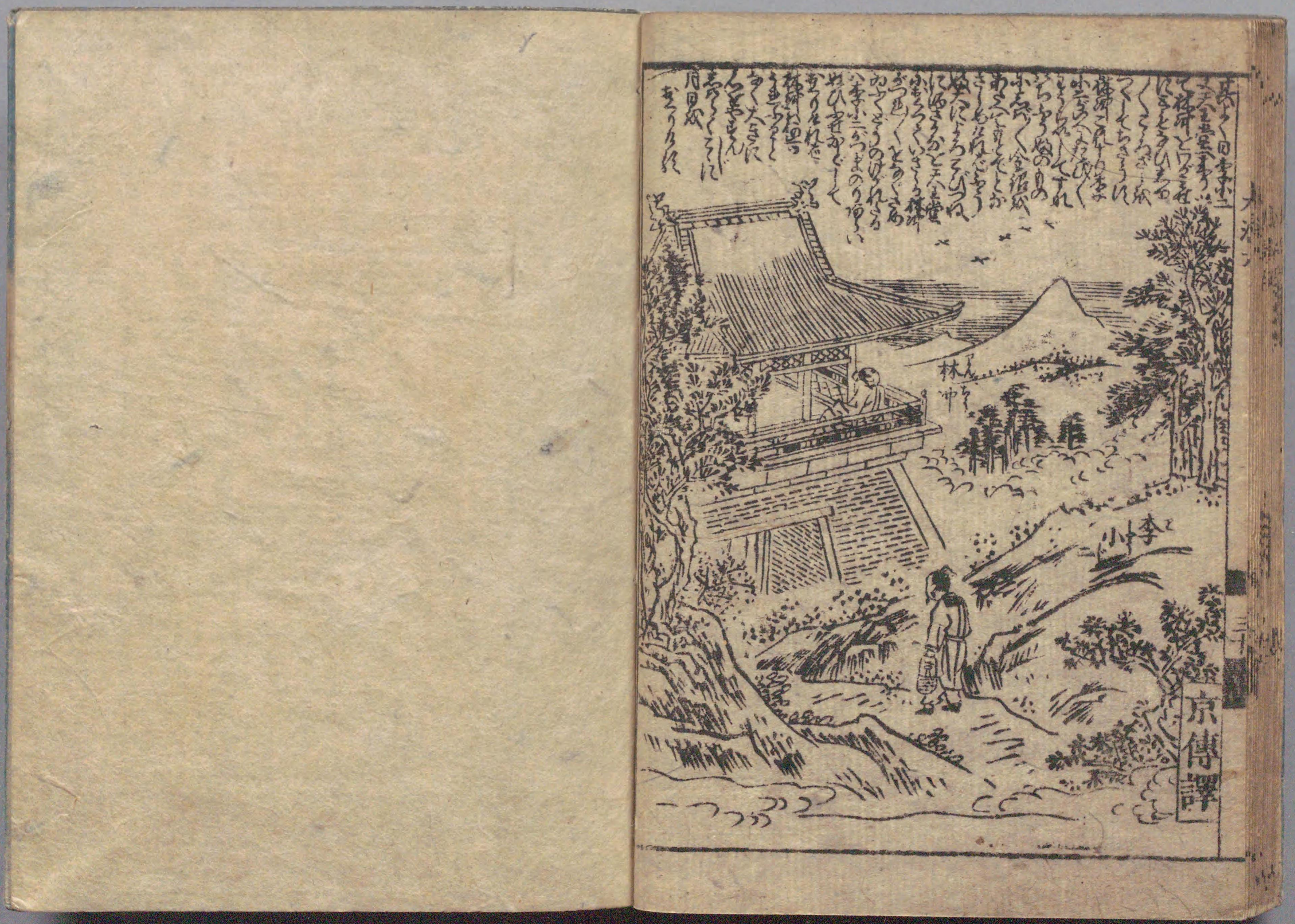
林沖は...
 大抵たの...
 酒...
 林沖は...
 大抵たの...
 酒...
 林沖は...
 大抵たの...
 酒...

林沖

林沖は...
 大抵たの...
 酒...
 林沖は...
 大抵たの...
 酒...
 林沖は...
 大抵たの...
 酒...

李小二



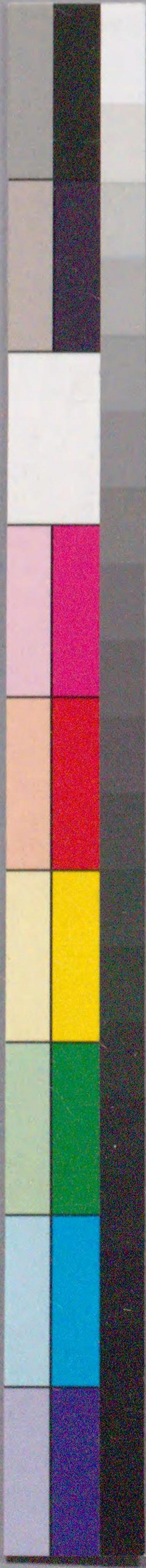


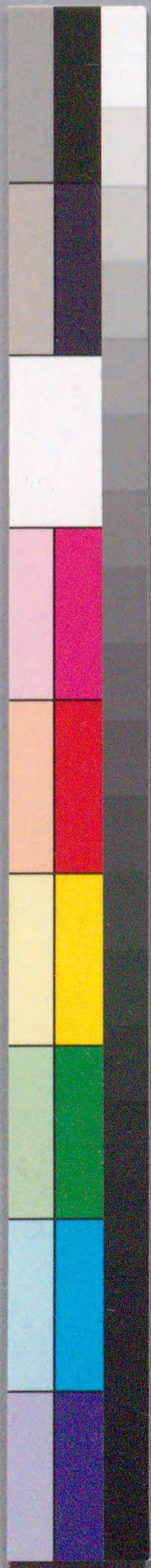
其のく日李小二
 天正五年丁未年
 林中に
 小李二
 月日成
 其のく日李小二
 天正五年丁未年
 林中に
 小李二
 月日成

京傳譯

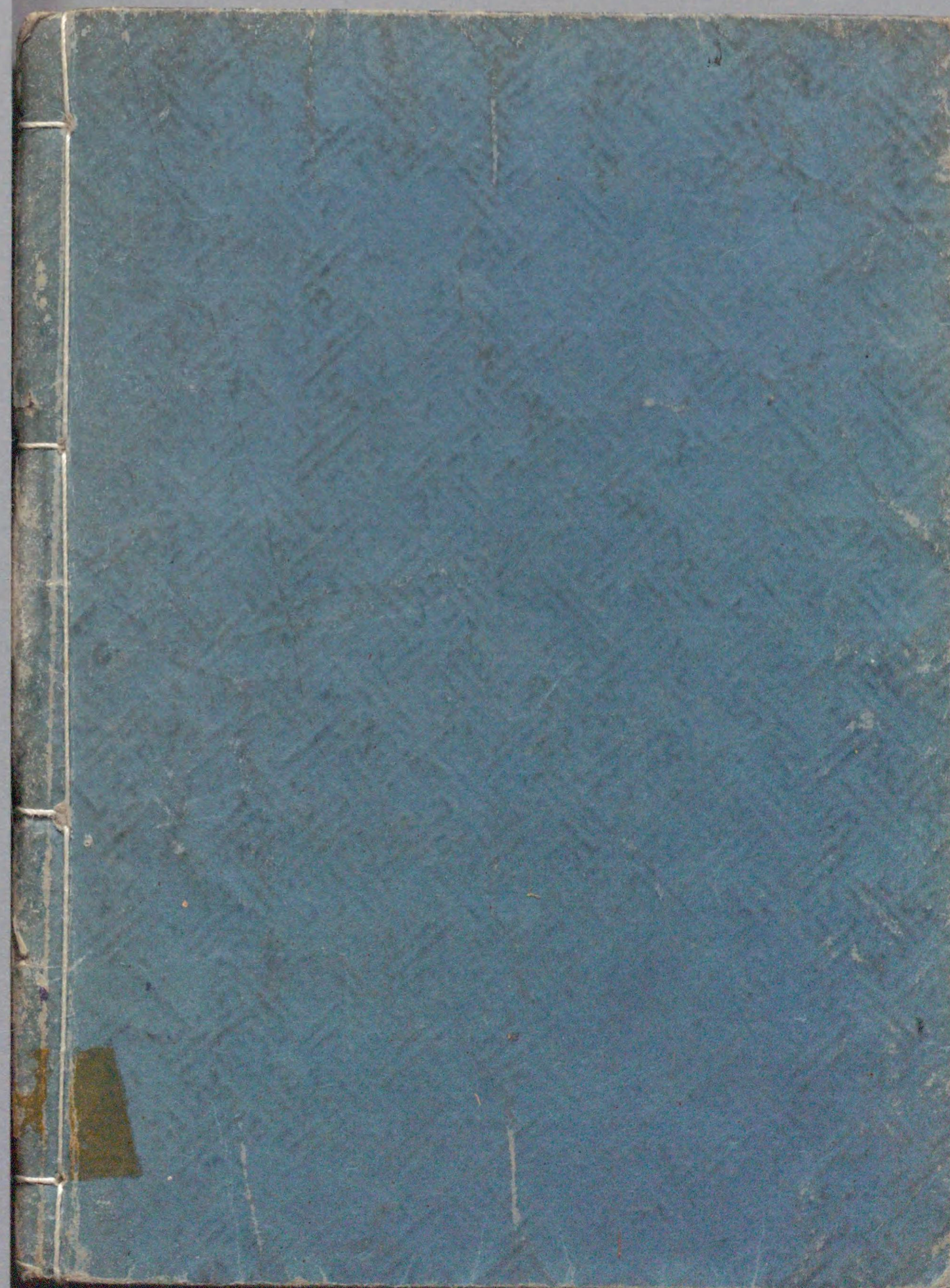


207
2
285





国立国会図書館 天剛岳楊柳：3巻 207-285



ガラス使用

